

## 令和3年度事業報告書

### 1. 事務所

東京都千代田区九段北4-1-20 歯科医師会館内

### 2. 設立年月日

平成12年12月1日（平成23年4月1日より公益財団法人認定）

### 3. 基本財産

391,529,131円

### 4. 役員（令和4年3月31日現在）

役職	氏名	所属団体等
理事長	堀 憲 郎	(公社)日本歯科医師会会長
副理事長	吉 岡 貴 司	サンスター(株)取締役副会長
副理事長	佐 藤 保	(公社)日本歯科医師会副会長
専務理事	小 玉 剛	(公社)日本歯科医師会常務理事
常務理事	海 野 仁	(公社)日本歯科医師会常務理事
常務理事	尾 松 素 樹	(公社)日本歯科医師会常務理事
常務理事	川 埜 晋 治	サンスター(株)執行役員プロフェッショナルリレーション担当
常務理事	小 山 茂 幸	(公社)日本歯科医師会常務理事
理事	芦 谷 浩 明	(株)ロッテ執行役員中央研究所所長
理事	飯 島 勝 矢	東京大学高齢社会総合研究機構機構長
理事	上 野 尚 雄	国立がん研究センター中央病院歯科医長
理事	川 口 陽 子	(一社)日本歯科医学会連合副理事長
理事	住 友 雅 人	日本歯科医学会会長
理事	谷 征 大	(株)ロッテ中央研究所チューニング研究部部長
理事	柘 植 紳 平	(公社)日本学校歯科医会副会長
理事	恒 石 美登里	日本歯科総合研究機構主任研究員
理事	鳥 山 佳 則	東京歯科大学短期大学学長
理事	中 尾 潔 貴	(一社)日本歯科商工協会会長
理事	西 永 英 司	ライオン(株)研究開発本部副本部長兼戦略統括部長
理事	福 田 雅 臣	日本歯科大学生命歯学部衛生学講座教授
理事	丸 山 博 之	サンスター(株)プロケアチャンネル営業部学術情報グループ長
理事	山 本 秀 樹	(公社)日本歯科医師会常務理事
理事	吉 田 直 美	(公社)日本歯科衛生士会会長
監 事	長 尾 博 通	大分県歯科医師会前会長
監 事	平 田 幸 夫	神奈川歯科大学名誉教授

5. 評議員 (令和4年3月31日現在)

氏名	所属団体等
藤原元幸	(一社)秋田県歯科医師会会長
松井克之	(公社)神奈川県歯科医師会会長
井上恵司	(公社)東京都歯科医師会会長
伊藤正明	(一社)長野県歯科医師会会長
澤田隆	(一社)兵庫県歯科医師会会長
甲野峰基	(一社)広島県歯科医師会顧問
宮口 巖	(一社)長崎県歯科医師会顧問
杉岡範明	(公社)日本歯科技工士会会長
齋藤秀子	(公社)日本学校歯科医会副会長
宮内啓友	(一社)日本歯科商工協会副会長
渡邊浩次	サンスター(株)営業本部プロケアチャンネル営業統括部長
満武 純	ライオン歯科材(株)代表取締役社長
川治久邦	パナソニック(株)アプライアンス社 ビューティ・パーソナルケア事業部商品企画部長
岡林一登	(株)ロッテコーポレートコミュニケーション部部長
鏑溝和子	(公社)母子保健推進会議常務理事
三橋裕行	(一社)日本家族計画協会代表理事理事長
安藤 孝	(公財)母子衛生研究会常務理事
下浦佳之	(公社)日本栄養士会専務理事
田中久美子	(一財)日本食生活協会会長
多田羅浩三	(一財)日本公衆衛生協会名誉会長

6. 事務局

職員4名 嘱託1名

7. 賛助会員

(令和4年3月31日現在)

A会員(歯科医師会) ..... 249 歯科医師会

日本歯科医師会(1)、都道府県歯科医師会(47)、郡市区歯科医師会(201)

B会員(団体・会社) ..... 36 団体・会社

○団体

日本歯科衛生士会、日本歯科技工士会、日本学校歯科医会、日本歯科器械工業協同組合、日本歯科材料工業協同組合、日本歯科用品卸商業組合、日本歯科用品輸入協会、日本歯材同友会、日本歯科用品商協同組合連合会、日本歯磨工業会 他(11団体)

○企業

サンスター(株)、ライオン(株)、パナソニック(株)、(株)ロッテ、昭和薬品化工(株)、デンタルプロ(株)、アサヒプリテック(株) 他(25社)

C会員(個人) ..... 228名

○歯科医師(115名)

○歯科医師以外の個人(113名)

## 8. 会 議

### (1) 理事会

#### ① 第8回理事会

日 時：令和3年5月28日（金）午前11時～同11時40分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館 801・802会議室

出席者：出席理事数18名、出席監事数2名

出席した理事の氏名

堀 憲郎、佐藤 保、蓮池芳浩、小玉 剛、小山茂幸、山本秀樹、飯島勝矢、  
山本美登里

Web 会議により出席した理事の氏名

川原田哲也、尾松素樹、芦谷浩明、福田雅臣、鳥山佳則、湯浅 徹、川本 強、  
森田晴夫、住友雅人、上野尚雄

Web 会議により出席した監事の氏名

長尾博道、平田幸夫

欠席者：欠席理事数4名

欠席した理事の氏名

濱田和生、岡野知道、谷 征大、武井典子

議長の氏名

定款第39条第1項の規定に基づき、堀 憲郎（公益財団法人8020推進財団理事長）  
が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で蓮池専務理事が理事総数22名のうち過半数の18名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条第1項「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また、本理事会は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第15条第3項第1号の括弧書きを根拠とした Web 会議で開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

- |         |           |
|---------|-----------|
| 1. 開会の辞 | 副理事長 佐藤 保 |
| 2. 挨拶   | 理事長 堀 憲郎  |

堀理事長より本財団の現況報告を兼ねた挨拶がなされた。

#### 3. 報 告

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

##### (1) 会務報告

蓮池専務理事より、会務現況として以下の事項の事項について報告がなされた。

①第7回理事会の開催、②第19回評議員会（報告の省略）について、③監事会の開催、  
④理事長賞の贈呈、⑤ロゴマーク普及事業、⑥8020運動ポスター募集事業、⑦ホーム  
ページの整備、⑧助成事業（歯科保健助成・公募研究事業）、⑨会誌「8020」の発  
行、⑩8020推進財団の案内パンフレット作成

##### (2) その他

#### 4. 議 事

##### 第1号議案 第20回評議員会の開催について

蓮池専務理事より、定款36条理事会の権限第1項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下の通り第20回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項が提案なされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人8020推進財団	
第20回 評議員会議事次第	
開催日時	令和3年6月17日(木) 午後4時~同4時40分
開催場所	Web会議(歯科医師会館 701・702会議室)
1. 開会の辞	副理事長 佐藤 保
2. 議長の選出	
3. 議事録署名人の選任	
4. 挨拶	理事長 堀 憲郎
5. 報告	専務理事 蓮池 芳浩
①会務報告	
②各所管報告	
6. 議 事	
第1号議案	評議員辞任に伴う後任評議員の選任の件
第2号議案	理事の選任の件
第3号議案	監事の選任の件
第4号議案	令和2年度事業報告及び収支決算の件
7. 協 議	今後の公募研究事業および歯科保健活動事業の在り方について
8. 閉会の辞	専務理事 蓮池 芳浩

##### 第2号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任について

蓮池専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり辞任に伴い後任の評議員を令和3年6月17日開催の第20回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第2項「任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。」の規定により、前任者の任期満了時の令和5年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任評議員	後任評議員候補者
迫 和子 公益社団法人日本栄養士会前専務理事	下浦 佳之 公益社団法人日本栄養士会専務理事
上谷 律子 一般財団法人日本食生活協会前会長	田中久美子 一般財団法人日本食生活協会会長

##### 第3号議案 理事の選任について

蓮池専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選

任する」の規定により、以下の通り理事を令和3年6月17日開催の第20回評議員会において選任する旨提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第1項「理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする」の規定により令和5年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇理事の選任（順不同、23名）

理事	芦谷 浩明	(株)ロッテ執行役員 中央研究所所長
理事	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構機構長
理事	上野 尚雄	国立がん研究センター中央病院歯科医長
理事	海野 仁	(公社)日本歯科医師会理事
理事	尾松 素樹	(公社)日本歯科医師会常務理事
理事	川口 陽子	(一社)日本歯科医学会連合 副理事長
理事	川埜 晋治	サンスター(株)執行役員 プロフェッショナルリレーション担当
理事	小玉 剛	(公社)日本歯科医師会常務理事
理事	小山 茂幸	(公社)日本歯科医師会常務理事
理事	佐藤 保	(公社)日本歯科医師会副会長
理事	住友 雅人	日本歯科医学会会長
理事	谷 征大	(株)ロッテ中央研究所チューイング研究部部長
理事	柘植 紳平	(公社)日本学校歯科医会副会長
理事	鳥山 佳則	東京歯科大学短期大学学長
理事	中尾 潔貴	(一社)日本歯科商工協会副会長
理事	西永 英司	ライオン(株) 研究開発本部 オーラルケア研究所所長
理事	福田 雅臣	日本歯科大学生命歯学部衛生学講座教授
理事	堀 憲郎	(公社)日本歯科医師会会長
理事	丸山 博之	サンスター(株) プロケアチャンネル営業部 学術情報グループ長
理事	山本 秀樹	(公社)日本歯科医師会常務理事
理事	山本美登里	日本歯科総合研究機構主任研究員
理事	吉岡 貴司	サンスター(株) 取締役副会長
理事	吉田 直美	(公社)日本歯科衛生士会会員 (日本歯科衛生学会学会長)

第4号議案 監事の選任について

定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下のとおり監事を令和3年6月17日開催の第20回評議員会において選任する旨提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第2項「監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする」の規定により令和5年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇監事の選任（順不同、2名）

監事	長尾 博通	(一社)大分県歯科医師会会長
監事	平田 幸夫	神奈川歯科大学名誉教授

第5号議案 令和2年度事業報告及び収支決算について

定款第10条第1項「本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの付属明細書、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を得たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする」の規定により、令和3年6月17日開催の第20回評議員会にて諮る旨提案がなされた。

蓮池専務理事より令和2年度事業報告について、小玉常務理事より令和2年度収支決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、附属明細書、財産目録に関して、資料に基づき説明がなされ、長尾監事より監査報告が行われたのち、全員異議なく承認した。

#### 第6号議案 ロゴマーク使用規約及びロゴマーク使用料規約の一部改正について

尾松常務理事より、ロゴマーク使用規約及びロゴマーク使用料規約の一部改正について定款36条理事会の権限第2項「規則の制定、変更及び廃止に関する事項」の規定に基づき提案がなされ、全員異議なく承認した。

### 5. 協 議

#### (1) 今後の公募研究事業および歯科保健活動事業の在り方について

佐藤副理事長より、今後の公募研究事業および歯科保健活動事業の在り方について説明がなされたのち議長の求めに応じ意見交換がなされた。

#### (2) その他

### 6. 閉会の辞

専務理事 蓮池 芳 浩

#### 議事録署名人

理 事 長	堀	憲 郎
監 事	長 尾	博 通
監 事	平 田	幸 夫

#### ② 第1回理事会

日 時：令和3年6月17日（木）午後5時00分～同5時40分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館 801・802会議室

出席者：出席理事数23名、出席監事数2名

#### 出席した理事の氏名

海野 仁、尾松素樹、川埜晋治、小玉 剛、小山茂幸、佐藤 保、中尾潔貴、西永英司、堀 憲郎、山本秀樹、山本美登里、吉岡貴司

#### Web 会議により出席した理事の氏名

芦谷浩明、飯島勝矢、上野尚雄、川口陽子、住友雅人、谷 征大、柘植紳平、鳥山佳則、福田雅臣、丸山博之、吉田直美

#### 出席した監事の氏名

長尾博通

#### Web 会議により出席した監事の氏名

平田幸夫

#### 会議の成立

開会に先立ち、小玉理事より理事会の召集手続きの省略について、定款第38条第5項「前項の規定にかかわらず、理事及び監事の全員の同意があるときは、招集の手続を経ることなく理事会を開催することができる。」に基づき、理事・監事全員の同意を得ていることが報告された。

小玉理事が理事総数23名のうち全員の出席を確認し、定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また、定款39条により理事会の議長は理事長が務めることとなっており、新理事長が決まるまでの間、暫時仮議長を務めることについて提案され全員異議無く了承された。

なお、本理事会は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第15条第3項第1号の括弧書きを根拠とした Web 会議で開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いに行える仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

#### 理事会の議事の経過の要領及びその結果

小玉理事より日程の一部を変更し日程4. 議事の「第1号議案 代表理事の選定について」、定款第27条第2項「代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。」の規定により、堀理事を代表理事に選定する旨、提案があり全員異議なく承認し、定款第39条第1項に基づき、堀 憲郎が議長に当たった。

1. 開会の辞 佐藤 保

2. 挨拶 堀 憲郎

3. 自己紹介  
各理事により自己紹介が行われた。

#### 4. 議 事

##### 第1号議案 代表理事の選定について

小玉理事より、定款第27条第2項「代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。」の規定により、以下の通り代表理事を選定する旨、提案があり全員異議なく承認した。

代表理事 堀 憲郎 理事長

##### 第2号議案 業務執行理事の選定について

小玉理事より、定款第27条第2項「代表理事及び業務執行理事は、理事会の決議によって理事の中から選定する。」の規定により、以下の通り業務執行理事を選定する旨、提案があり全員異議なく承認した。

業務執行理事	吉 岡 貴 司	副理事長
同	佐 藤 保	副理事長
同	小 玉 剛	専務理事
同	海 野 仁	常務理事
同	尾 松 素 樹	常務理事
同	川 埜 晋 治	常務理事
同	小 山 茂 幸	常務理事

##### 第3号議案 参与の委嘱について

小玉専務理事より、定款第46条第2項「名誉会長、顧問及び参与は、理事会の同意を得て、理事長が委嘱する。」の規定により、以下の通り参与を委嘱する旨、提案があり、全員異議無く承認した。

なお、任期は令和5年の定時評議員会終結の時までとする。

参 与 猪 谷 千 春

#### 第4号議案 各種委員会委員の選任について

小玉専務理事より、本財団定款の規定ならびに、委員会規程、8020調査研究委員会規程、ポスター審査会規程の規定により、以下の委員会の委員を選任する旨、提案があり、全員異議無く承認した。なお、任期は2年とする。

- ・会誌編集委員会
- ・地域歯科保健活動推進委員会
- ・広報委員会
- ・8020調査研究委員会
- ・ポスター審査会

#### 第5号議案 専務理事の事務局長代行について

小玉専務理事より、本財団定款53条第3項「事務局長及び職員は、理事長が任免する。ただし、事務局長等重要な職員は、予め理事会の承認を得ることとする。」、事務処理規則第3条第2項「事務局長は、理事会の議を経て専務理事が代行することができる。」の規定により、小玉専務理事が事務局長を代行する旨、提案があり、全員異議無く承認した。

#### 5. 報 告

- (1) 8020推進財団の組織体制、
- (2) 令和3年度事業計画、
- (3) 令和3年度予算書
- (4) ロゴマーク使用許可審査委員会委員一覧、
- (5) 嘱託等一覧

#### 6. 閉会の辞

小 玉 剛

議事録署名人

理 事 長	堀	憲 郎
監 事	長 尾	博 通
監 事	平 田	幸 夫

#### ③ 第2回理事会

日 時：令和3年9月29日（水）午後3時～同3時50分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館 701・202会議室

出席者：出席理事数23名、出席監事数2名

出席した理事の氏名

堀 憲郎、佐藤 保、小玉 剛、海野 仁、尾松素樹、小山茂幸、山本秀樹、山本美登里、

Web 会議により出席した理事の氏名

吉岡貴司、川埜晋治、芦谷浩明、飯島勝矢、上野尚雄、川口陽子、住友雅人、谷 征大、柘植紳平、鳥山佳則、中尾潔貴、西永英司、福田雅臣、丸山博之、吉田直美

Web 会議により出席した監事の氏名

長尾博通、平田幸夫

決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名

第1号議案について 佐藤 保、山本秀樹

議長の氏名



定款第39条の規定に基づき、堀 憲郎が議長に当たった。

## 理事会の議事の経過の要領及びその結果

### 会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数23名全員の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また、本理事会は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第15条第3項第1号の括弧書きを根拠としたWeb会議で開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

1. 開会の辞 副理事長 佐藤 保

2. 挨拶 理事長 堀 憲郎

堀理事長より本財団の現況報告を兼ねた挨拶がなされた。

### 3. 報告

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

#### (1) 会務報告

小玉専務理事より会務現況として以下の事項の概要について、報告がなされた。

①第8回理事会の開催、②第20回評議員会の開催、③第1回理事会の開催、④8020運動ポスター募集、⑤令和3年度歯科保健事業報告会・公募研究発表会、⑥第19回フォーラム8020、⑦理事長賞の贈呈、⑧都道府県歯科保健条例の制定状況、⑨噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑩ロゴマークの普及事業、⑪助成事業（歯科保健活動事業・公募研究課題）⑫調査研究事業（第2回永久歯の抜歯原因調査の特別集計解析・事業所を対象とした歯科健診及び保健指導の介入研究・健保連調査等における歯科口腔保健の事例収集⑬後援等名義使用許可、⑭ホームページの整備、⑮会誌「8020」の制作、⑯「AHWINウェビナー」における講演

続いて海野常務理事より、会計関係について報告がなされた。

#### (2) その他

佐藤副理事長より「AHWINウェビナー」における講演について報告がなされた。

### 4. 議事

#### 第1号議案 令和3年度歯科保健活動事業の採択及び助成額について

小玉専務理事より、地域歯科保健活動への助成事業として地域歯科保健活動推進委員会より報告のあった審査結果に基づき令和3年度歯科保健活動事業を採択し、助成交付を行う旨の説明がなされ全員意義なく承認した。なお、審議対象の岩手県歯科医師会の会長である佐藤副理事長、東京都立川市歯科医師会の顧問である山本理事は「特別の利害関係を有する理事」に該当するため、議決に参加していない。

#### 第2号議案 令和3年度公募研究課題の採択及び助成額について

佐藤副理事長より、8020達成のための歯科保健に係わる公募研究に対する助成事業として8020調査研究委員会より報告のあった審査結果に基づき令和3年度公募研究課題を採択し、助成交付を行う旨の説明がなされ、全員意義なく承認した。

## 5. 協 議

### (1) 第19回フォーラム8020について

佐藤副理事長より、第19回フォーラム8020について説明がなされた後、議長の求めに応じ意見交換がなされた。

### (2) その他

## 6. 閉会の辞

専務理事 小 玉 剛

議事録署名人

理 事 長 堀 憲 郎

監 事 長 尾 博 通

監 事 平 田 幸 夫

### ④ 第3回理事会

日 時：令和4年2月25日（水）午前11時～午後12時00分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館 801・802階会議室

出席者：出席理事数21名、出席監事数2名

出席した理事の氏名

堀 憲郎、佐藤 保、小玉 剛、海野 仁、小山茂幸、山本秀樹、山本美登里

Web 会議により出席した理事の氏名

吉岡貴司、尾松素樹、芦谷浩明、飯島勝矢、上野尚雄、川口陽子、住友雅人、  
柘植紳平、鳥山佳則、中尾潔貴、西永英司、福田雅臣、丸山博之、吉田直美

Web 会議により出席した監事の氏名

長尾博通、平田幸夫

欠席者：欠席理事数2名

欠席した理事の氏名

川埜晋治、谷 征大

議長の氏名

定款第39条の規定に基づき、堀 憲郎理事長が議長に当たった。

理事会の議事の経過の要領及びその結果

会議の成立

冒頭で小玉専務理事が理事総数23名のうち過半数の21名の出席を確認し、定足数の充足を報告。定款第40条「理事会は、理事の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。」を満たしているため、議長が本会議の成立を宣した。

また、本理事会は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第15条第3項第1号の括弧書きを根拠としたWeb会議で開催する理事会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

## 1. 開会の辞

副理事長 佐 藤 保

## 2. 挨拶

理事長 堀 憲 郎

堀理事長より本財団の現況報告を兼ねた挨拶がなされた。

## 3. 報 告

議長の求めに応じ、理事より以下の職務執行報告が行われた。

### (1) 会務報告

議長の求めに応じ、小玉専務理事より会務現況として、以下の事項のについて報告がなされた。

①内閣府公益認定等委員会運営組織及び事業活動状況に関する立入検査、②第2回理事会の開催、③会誌「8020」の発行、④国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑤第19回フォーラム8020、⑥8020運動ポスター、⑦理事長賞の贈呈、⑧噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑨ロゴマークの普及事業、⑩調査研究事業（事業所を対象とした歯科健診及び保健指導の介入研究・健保連調査等における歯科口腔保健の事例収集）、⑪助成事業（歯科保健活動助成事業・公募研究課題助成事業）⑫後援等名義使用許可、⑬ホームページの整備、⑭歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑮8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第12弾）

### (2) その他

佐藤副理事長より、今年度の調査研究事業進捗状況について報告がなされた。

## 4. 議 事

### 第1号議案 評議員退任に伴う後任評議員の選任

小玉専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり評議員退任に伴う後任の評議員を令和4年3月17日開催の第21回評議員会において選任する旨の提案がなされ、全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第2項「任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。」の規定により、前任者の任期満了時の令和5年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

退任評議員	後任評議員候補者
山崎 一男 公益社団法人東京都歯科医師会 前会長	井上 恵司 公益社団法人東京都歯科医師会 会長

### 第2号議案 第21回評議員会の開催について

小玉専務理事より、定款第36条理事会の権限第1項「評議員会の日時及び場所並びに目的である事項の決定」の規定により、以下のとおり第21回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項について提案がなされ、全員異議なく承認した。

公益財団法人 8020 推進財団  
第 21 回 評議員会議事次第

日 時 令和 4 年 3 月 17 日 (木) 午後 1 時～  
場 所 Web 会議 (歯科医師会館 801・802 会議室)

1. 開会の辞
2. 議長の選出
3. 議事録署名人の選任
4. 挨拶
5. 報告
  - ① 会務報告
  - ② 令和 4 年度賛助会費の額
  - ③ 令和 4 年度事業計画及び収支予算
  - ④ 資金調達及び設備投資の見込みについて
  - ⑤ その他
6. 議 事  
第 1 号議案 評議員退任に伴う後任評議員の選任
7. 協 議
  - ① 調査研究事業等について
  - ② その他
8. 閉会の辞

第 3 号議案 令和 4 年度賛助会費の額

海野常務理事より、令和 4 年度の賛助会費の額を令和 3 年度と同額とする旨、提案がなされ、全員異議なく承認した。

第 4 号議案 令和 4 年度事業計画及び収支予算

小玉専務理事より、事業計画の基本方針、事業内容について資料に基づき提案がなされた後、海野常務理事より、令和 4 年度収支予算について以下の通り提案がなされ、全員異議なく承認した。

令和 4 年度収支予算は OAG 税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成し、経常収益計は 123,721,000 円、経常費用計は 131,441,000 円、当期経常増減額は△7,720,000 円。経常外増減の部の増減はなし、指定正味財産の増減の部の増減はなし、当期一般正味財産増減額は△7,720,000 円、正味財産期末残高は 761,555,854 円となる。

また、損益計算ベースは収支予算書を基に、OAG 税理士法人の指導を受けて新公益法人会計基準に則り作成している。この損益計算ベースは、「減価償却費」及び「退職給付引当金」(但しゼロ円)についての記載もある。内閣府への報告は、この損益計算ベースの収支予算をもって行う。

第 5 号議案 資金調達及び設備投資の見込みについて

海野常務理事より令和 4 年 4 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日までの見込みについて、以下の通り提案され、全員異議なく承認した。

資金調達の見込みについては、当期中における金融機関からの借り入れの予定はない。  
設備投資の見込みについては当期中における重要な設備投資（除却又は売却を含む。）の予定はない。

令和4年度事業は令和3年度事業を基本的に踏襲し実施することとしており、新規事業における「資金調達及び設備投資の見込みについて」は特に発生しない。

## 5. 協 議

### (1) 調査研究事業等について

佐藤副理事長より、今後の調査研究事業等検討会について説明がなされた後、議長  
の求めに応じ、意見交換がなされた。

### (2) その他

## 6. 閉会の辞

専務理事 小 玉 剛

議事録署名人

理 事 長 堀 憲 郎

監 事 長 尾 博 通

監 事 平 田 幸 夫

## (2) 評議員会

### ① 第20回評議員会

日 時：令和3年6月17日（木）午後4時～同4時40分

場 所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館 701・702会議室

出席者：出席評議員数14名、出席理事数21名、出席監事数1名

出席した評議員の氏名

満武 純、三橋裕行

Web 会議により出席した評議員の氏名

藤原元幸、松井克之、甲野峰基、宮口 巖、杉岡範明、齋藤秀子、宮内啓友、  
渡邊浩次、川治久邦、岡林一登、鏑溝和子、安藤 孝

出席した理事の氏名

堀 憲郎、濱田和生、佐藤 保、蓮池芳浩、小玉 剛、尾松素樹、川原田哲也、  
小山茂幸、岡野知道、山本秀樹、山本美登里

Web 会議により出席した理事の氏名

芦谷浩明、福田雅臣、鳥山佳則、飯島勝矢、谷 征大、湯浅 徹、川本 強、  
森田晴夫、住友雅人、上野尚雄

出席した監事の氏名

長尾博通

欠席者：欠席評議員5名 欠席理事数1名 欠席監事数1名

欠席した評議員の氏名

伊藤正明、澤田 隆、迫 和子、上谷律子、多田羅浩三

欠席した理事の氏名

武井典子

欠席した監事の氏名

平田幸夫

議長の氏名

定款第21条第1項の規定に基づき、満武 純評議員が議長に当たった。

議事録署名人：齋藤秀子、岡林一登

## 評議員会の議事の経過の要領及びその結果

### ○会議の成立

開会に先立ち、蓮池専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条第1項「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨が提案され、満武評議員が議長に選出された。

議長が出席者数を確認し、評議員総数19名のうち過半数の14名が出席となり、定款第22条「評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告の上、開会を宣した。

また本評議員会は一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第60条第3項第1号の括弧書きを根拠とした、Web会議で開催する評議員会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いに行える仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

### ○議長の選出

蓮池専務理事より定款第21条の規定に基づき、満武評議員を議長に選出したい旨、提案があり、全員異議なく承認した。

### ○議事録署名人の選任

蓮池専務理事より定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき齋藤評議員、岡林評議員を選任したい旨、提案があり全員異議なく承認した。

## 1. 報告

### (1) 会務報告

蓮池専務理事より、会務現況として以下の事項の事項について報告がなされた。

①第7回理事会の開催、②第8回理事会の開催、③第19回評議員会（報告の省略）について、④監事会の開催、⑤理事長賞の贈呈、⑥ロゴマーク普及事業、⑦8020運動ポスター募集事業⑧ホームページの整備、⑨助成事業（歯科保健助成・公募研究事業）、⑩会誌「8020」の発行、⑪8020推進財団の案内パンフレット作成、⑫8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第11弾）⑬国民向け小冊子の作成・配布（お口は万病の元～全身に影響を及ぼすお口の健康を考えよう～・8020読本 人生100年時代の8020～高齢者の栄養管理～）、⑭調査研究事業（第2回永久歯の抜歯原因調査の特別集計解析・事業所を対象とした歯科健診及び保健指導の介入研究・職域などにおける歯科口腔保健のエビデンス収集）

## 2. 決議事項

第1号議案 評議員辞任に伴う後任評議員の選任の件

蓮池専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり辞任に伴い後任の評議員を選任する旨の説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第2項「任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。」の規定により、前任者の任期満了時の令和5年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

辞任評議員	後任評議員候補者
迫 和子 公益社団法人日本栄養士会前専務理事	下浦 佳之 公益社団法人日本栄養士会専務理事
上谷 律子 一般財団法人日本食生活協会前会長	田中久美子 一般財団法人日本食生活協会会長

## 第2号議案 理事の選任の件

蓮池専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下の通り理事を選任する旨、説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第1項「理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする」の規定により令和5年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

### ◇理事の選任（五十音順、23名）

理事	芦谷 浩明	(株)ロッテ執行役員 中央研究所所長
理事	飯島 勝矢	東京大学高齢社会総合研究機構機構長
理事	上野 尚雄	国立がん研究センター中央病院歯科医長
理事	海野 仁	(公社)日本歯科医師会理事
理事	尾松 素樹	(公社)日本歯科医師会常務理事
理事	川口 陽子	(一社)日本歯科医学会連合 副理事長
理事	川埜 晋治	サンスター(株) 執行役員 プロフェッショナルリレーション担当
理事	小玉 剛	(公社)日本歯科医師会常務理事
理事	小山 茂幸	(公社)日本歯科医師会常務理事
理事	佐藤 保	(公社)日本歯科医師会副会長
理事	住友 雅人	日本歯科医学会会長
理事	谷 征大	(株)ロッテ中央研究所チューニング研究部部長
理事	柘植 紳平	(公社)日本学校歯科医会副会長
理事	鳥山 佳則	東京歯科大学短期大学学長
理事	中尾 潔貴	(一社)日本歯科商工協会副会長
理事	西永 英司	ライオン(株) 研究開発本部 オーラルケア研究所所長
理事	福田 雅臣	日本歯科大学生命歯学部衛生学講座教授
理事	堀 憲郎	(公社)日本歯科医師会会長
理事	丸山 博之	サンスター(株) プロケアチャンネル営業部 学術情報グループ長
理事	山本 秀樹	(公社)日本歯科医師会常務理事
理事	山本美登里	日本歯科総合研究機構主任研究員
理事	吉岡 貴司	サンスター(株) 取締役副会長
理事	吉田 直美	(公社)日本歯科衛生士会会員 (日本歯科衛生学会学会長)

## 第3号議案 監事選任の件

蓮池専務理事より、定款第27条第1項「理事及び監事は、評議員会の決議によって選任する」の規定により、以下の通り監事を選任する旨、説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第30条第2項「監事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する定時評議員会の終結の時までとする」の規定により令和5年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

◇監事の選任（順不同、2名）

監事 長尾 博通 （一社）大分県歯科医師会会長  
監事 平田 幸夫 神奈川歯科大学名誉教授

第4号議案 令和2年度事業報告及び収支決算の件

定款第10条第1項「本財団の事業報告及び決算は、毎事業年度終了後、理事長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの付属明細書、財産目録として作成し、監事の監査を受け、理事会において承認を得たうえで、定時評議員会の承認を得るものとする。」の規定に基づき、蓮池専務理事より令和2年度事業報告について、小玉常務理事より令和2年度収支決算について、貸借対照表、正味財産増減計算書、付属明細書、財産目録に関して、資料に基づき説明がなされ、長尾監事より監査報告が行われたのち、全員異議なく承認した。

3. 協議事項

今後の公募研究事業および歯科保健活動事業の在り方について

佐藤副理事長より説明がなされた後、今後の取り組みについて協議が行われた。

議事録署名人

議長 澤田 隆  
評議員 齋藤 秀子  
評議員 岡林 一登

② 第21回評議員会

日時：令和4年3月17日（木）午後1時～同1時50分

場所：東京都千代田区九段北4丁目1番20号 歯科医師会館 801・802会議室

出席者：出席評議員数17名、出席理事数21名、出席監事数2名

出席した評議員の氏名

満武 純

Web会議により出席した評議員の氏名

藤原元幸、松井克之、澤田 隆、甲野峰基、宮口 巖、杉岡範明、齋藤秀子、  
宮内啓友、渡邊浩次、川治久邦、岡林一登、鎧溝和子、三橋裕行、安藤 孝、  
下浦佳之、田中久美子

出席した理事の氏名

堀 憲郎、小玉 剛、山本秀樹、山本美登里

Web会議により出席した理事の氏名

吉岡貴司、佐藤 保、海野 仁、尾松素樹、小山茂幸、芦谷浩明、飯島勝矢、  
上野尚雄、川口陽子、住友雅人、谷 征大、柘植紳平、中尾潔貴、西永英司、  
福田雅臣、丸山博之、吉田直美

出席した監事の氏名

長尾博通、平田幸夫

欠席者：欠席評議員2名 欠席理事数2名



欠席した評議員の氏名  
伊藤正明、多田羅浩三

欠席した理事の氏名  
川埜晋治、鳥山佳則

議長の氏名

定款第21条第1項の規定に基づき、満武 純評議員が議長に当たった。

議事録署名人：澤田 隆、鏑溝和子

評議員会の議事の経過の要領及びその結果

○会議の成立

開会に先立ち、小玉専務理事より日程の一部を変更し、定款第21条第1項「評議員会の議長は、その評議員会において、出席した評議員の中から選出する。」の規定に基づき、議長を執行部一任のもと選出する旨が提案され、満武評議員が議長に選出された。

議長が出席者数を確認し、評議員総数19名のうち過半数の17名が出席となり、定款第22条「評議員会は、評議員の過半数の出席がなければ開催することができない。」を満たしている旨を報告し、開会を宣した。

また本評議員会はWeb会議システムを使用して開催する評議員会であること、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、適宜的確な意思表示が互いにできる仕組みとなっていることを確認し、議案の審議に入った。

○議長の選出

小玉専務理事より定款第21条の規定に基づき、満武評議員を議長に選出したい旨、提案があり、全員異議なく承認した。

○議事録署名人の選任

小玉専務理事より定款第24条第2項「議事録には、議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上が、署名、押印をしなければならない。」の規定に基づき澤田評議員、鏑溝評議員を選任したい旨、提案があり全員異議なく承認した。

## 1. 報告

(1) 小玉専務理事より、会務現況として以下の事項について報告がなされた。

①内閣府公益認定等委員会運営組織及び事業活動状況に関する立入検査、②第1回理事会の開催、③第2回理事会の開催、④会誌「8020」の発行、⑤国民向け啓発小冊子の作成・配布、⑥第19回フォーラム8020、⑦8020運動ポスター、⑧理事長賞の贈呈、⑨噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業、⑩ロゴマークの普及事業、⑪令和3年度歯科保健事業報告会・公募研究発表会、⑫調査研究事業（第2回永久歯の抜歯原因調査の特別集計解析・事業所を対象とした歯科健診及び保健指導の介入研究・健保連調査等における歯科口腔保健の事例収集）、⑬助成事業（歯科保健活動助成事業・公募研究課題助成事業）⑭後援等名義使用許可、⑮ホームページの整備、⑯歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ、⑰8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第12弾）

(2) 令和4年度賛助会費の額

海野常務理事

(3) 令和4年度事業計画及び収支予算

小玉専務理事  
海野常務理事

## 2. 決議事項

## 第1号議案 評議員退任に伴う後任評議員の選任の件

小玉専務理事より、定款第13条第1項「評議員の選任及び解任は、評議員会において行う」の規定により、以下のとおり退任に伴い後任の評議員を選任する旨の説明がなされ全員異議なく承認した。

なお、任期は定款第14条第2項「任期の満了前に退任した評議員の補欠として選任された評議員の任期は、退任した評議員の任期の満了する時までとする。」の規定により、前任者の任期満了時の令和5年6月開催予定の定時評議員会終結時までとする。

退任評議員	後任評議員候補者
山崎 一男 公益社団法人東京都歯科医師会 前会長	井上 恵司 公益社団法人東京都歯科医師会 会長

## 3. 協 議

## (1) 調査研究事業等について

佐藤副理事長より、今後の調査研究事業等について新規調査研究事業検討会等を経て意見交換をしたい旨の説明がなされた後、議長の求めに応じ、意見交換がなされた。

## (2) その他

## 議事録署名人

議 長 満 武 純  
評議員 澤 田 隆  
評議員 鐘 溝 和 子

## (3) 委員会等

令和3年度事業計画に基づき事業を推進するため、下記の委員会を開催した。

## ① ロゴマーク使用許可審査委員会

書面審査 令和3年 4月 2日 パナソニック株式会社  
書面審査 令和3年 4月 5日 サンスター株式会社  
書面審査 令和3年 5月 31日 パナソニック株式会社  
書面審査 令和3年 7月 26日 サンスター株式会社  
第1回委員会 令和3年 8月 6日 サンスター株式会社  
書面審査 令和3年 12月 24日 サンスター株式会社  
書面審査 令和4年 2月 10日 サンスター株式会社  
書面審査 令和4年 2月 28日 サンスター株式会社

## ② 会誌編集委員会

第3回委員会 令和3年4月22日

## ③ 広報委員会

第3回委員会 令和3年5月12日

## ④ 地域歯科保健活動推進委員会

第1回委員会 令和3年8月19日

## ⑤ 8020調査研究委員会

第1回委員会 令和3年9月 1日

## ⑥ 8020運動ポスター審査会

令和3年度審査会 令和3年11月9日

## 9. 事業活動

### (1) 会誌「8020」の発行

会誌「8020」は、国民が日常生活で役立つ歯と口の健康情報や歯科関係者が役立つ専門的な情報、本財団の事業報告などを盛り込んだ構成で年1回作成している。令和3年度は『「食べることを考える」～口から食べることの意味～』をテーマに、令和4年2月に第21号を発刊し、8020運動や本財団の周知のために賛助会員や関係団体、全国保健所等に配布するとともに、ホームページにも掲載した。

また、本会誌を活用して国民向けページを別冊として作成し、8020運動の普及啓発と本財団の周知のために広く配布した。

### (2) 国民向け啓発小冊子の作成、配布

8020達成を目指し、日常生活で役立つ歯と口の健康情報を広く一般に周知するため、啓発小冊子を作成し、行政・保健所・教育委員会・関係団体等を通じて広く配布している。

企画・制作は嘱託が行い、様々な切り口で各世代におけるポイントやあらゆる場面に関するテーマを取り上げている。

- ① 「マイナス1歳から始める母と子の歯育て～生涯おいしく食べるために～」は、妊娠期、乳・幼児期、小児・学童期、青年期に気を付ける日常生活のケアのポイントをまとめた。本小冊子は一般財団法人宝くじ協会の助成を受けて作成し、令和4年2月に15万部に関係各所へ送付するとともに、財団ホームページに掲載した。
- ② 「8020読本・働き盛りのお口の健康」は20代から60代をターゲットとした小冊子で、歯と口の健康状態と全身の関係やターゲットの年齢層で気を付けるポイント等をまとめ作成した。本小冊子は関係各所へ送付するとともに、財団ホームページに掲載した。

### (3) 第19回フォーラム8020の開催

「8020運動の成果から推進するオーラルフレイル対策」をテーマに令和3年12月6日（月）に開催した。

本フォーラムでは、地域での取り組みを中心に健康な口腔環境の保持・増進を図る8020運動を踏まえて、全ライフステージにおける口腔健康管理とオーラルフレイル対策を通じた「口腔の諸機能の衰えの予防」の重要性を、広く国民に伝えることを目的に講演・総合討論を行った。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、ホームページ及びYouTubeチャンネルに動画を掲載し、歯科関係者・国民へ広く周知した。また、会誌「8020」第21号には本フォーラムの抄録を掲載し巻末には講演・ディスカッションの映像を収録したDVDを同封した。

#### <開催概要>

テーマ「8020運動の成果から推進するオーラルフレイル対策」

○挨拶：堀 憲郎（公益財団法人8020推進財団 理事長）

○基調講演「口腔健康管理とオーラルフレイルの地域での展開に向けて」  
講師：山本秀樹氏（公益社団法人日本歯科医師会 常務理事）

○講演1「2040年を見据えた8020運動の展開  
～歯科保健医療を取りまく環境～」  
講師：小椋正之氏（厚生労働省 医政局歯科保健課長）

○講演2「地域における口腔機能低下予防対策の現状と課題」  
講師：福田英輝氏（国立保健医療科学院 統括研究官）

- 講演3「地域におけるオーラルフレイル対策の取り組み①  
～広島県竹原市の事例～」  
講師：三好早苗氏（一般社団法人広島県歯科衛生士会 会長）
- 講演4「地域におけるオーラルフレイル対策の取り組み②  
～北海道札幌市の事例～」  
講師：武藤智美氏（一般社団法人北海道歯科衛生士会 会長）
- 講演5「オーラルフレイル対策の活性化に向けて  
～2040年への歯科イノベーションロードマップ～」  
講師：小林隆太郎氏（日本歯科医学会 総務理事）
- 総合討論「8020運動の成果から推進するオーラルフレイル対策」  
パネリスト：山本秀樹氏、小椋正之氏、福田英輝氏、三好早苗氏、  
武藤智美氏、小林隆太郎氏  
座長：小玉 剛 専務理事

#### (4) 8020運動ポスターの募集

ポスター制作を通じて、国民の8020運動や歯の健康に対する認知・理解をより一層高めることを目的に「8020運動ポスター」の募集を行っている。

令和3年度は4月1日から9月30日までに応募のあった393作品について11月9日（火）に審査会を開催し、12作品を選出した。

<最優秀賞(1名)>佐藤 奨馬

<優秀賞(3名)>静 龍馬、浜田 七海、沼口 絢音

<入 選(8名)>矢嶋 美優、福田 成美、賀来奈菜子、仙石 修平、  
阿木 理香、宮崎 彰梧、菊地 未夢、大角 彩栄

なお、審査結果・入選作品等をホームページに掲載し、会誌「8020」第21号でも紹介した。

#### (5) 8020推進財団理事長賞の贈呈

歯の維持がその後の健康との関わりを含め、人生に大きく影響することの重要性を8020達成者の表彰を通して社会に提言、理解を促進することを目的に、8020達成者に対して8020推進財団理事長賞を贈呈した。被表彰者は各都道府県歯科医師会を通じて推薦申請され、都道府県歯科医師会が行っている事業にて表彰を行っている。

令和3年度は、青森県、岩手県、宮城県、山形県、茨城県、栃木県、千葉県、東京都、静岡県、愛知県、三重県、岐阜県、富山県、石川県、福井県、大阪府、広島県、島根県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県、高知県、福岡県、熊本県、宮崎県の26都府県より申請がなされ、賞状を授与した。

#### (6) 噛むカムチェックガムを用いた8020普及啓発事業

噛むことの大切さを伝え、口腔機能についての普及啓発を進めることを目的とした8020普及啓発事業を「噛むカムチェックガム」を用いて行った。本事業は都道府県歯科医師会の協力のもと実施し、都道府県・郡市区歯科医師会の様々な事業を通じて実施し、事後評価・情報収集を進めている。本年度は令和3年10月に同事業への協力依頼文書並びに、噛むカムチェックガムを都道府県歯科医師会に配布した。

## (7) ロゴマークの普及

令和3年度は、賛助会員である企業より申請されたロゴマーク使用許可について、ロゴマーク使用許可審査委員会において8件の審査を実施し、使用許可を通知した。

## (8) 歯科保健活動事業報告会・公募研究発表会の開催

本財団では歯科医師会はじめ公益法人、NPO法人、公共機関等に対する歯科保健活動事業に対する助成事業、ならびに8020運動に資する研究について、8020研究事業の発展を推進するため研究課題の公募事業を行っており、同事業において採択された事業・研究課題の報告の中から、年度ごとに広く周知したいものを各3題取り上げ、報告会・発表会を開催している。

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、ホームページ上で報告書や抄録を用いて実施した。

### ① 歯科保健活動事業（令和元年度報告より）

こども8020推進員育成事業 (実施団体：一般社団法人長野県歯科医師会)
多職種連携によるこどもの「食」プロジェクト事業 (実施団体：公益社団法人山口県歯科医師会)
職域成人における歯科口腔保健の普及啓発事業～無関心層への予防歯科情報発信～ (実施団体：公益財団法人ライオン歯科衛生研究所)

※令和元年度報告書提出当時の団体名で記載

### ② 公募研究事業（令和元年度報告より）

健康な口腔機能が脳認知機能を護る (研究者：岩手医科大学歯学部補綴・インプラント学講座 教授 小林琢也)
歯の喪失予防と義歯利用が高齢者の笑って暮らせる生活の維持に果たす役割の検討 (研究者：名古屋大学大学院医学系研究科予防医学分野 准教授 竹内研時)
『種子島スタディ』 -口腔から種子島地域高齢者の健康寿命延伸につなげる包括的高齢者機能評価- (研究者：鹿児島大学大学院医歯学総合研究科口腔顎顔面外科 助教 鈴木甫)

※令和元年度報告書提出当時の所属で記載

## (9) 後援等名義使用の許可

令和3年度は以下の関係団体より依頼を受け、後援名義の貸与を了承した。

- ・第20回秋田県歯科保健大会並びに歯科保健医療フォーラム  
(申請日：令和3年10月13日)  
主催：一般社団法人秋田県歯科医師会
- ・市民セミナー in あおば「“歯ならびと健康” —子どもたちの未来のために—」  
(申請日：令和4年2月7日)  
主催：公益社団法人日本臨床矯正歯科医会 神奈川支部
- ・第11回全国歯科医師会野球大会  
(申請日：令和4年2月25日)  
主催：日本歯科医師野球連盟

## (10) ホームページの整備

「8020運動」のさらなる周知・啓発、歯と口の健康及び全身との関係に関する情報を広く国民・社会に提供するため、ホームページの整備・充実を進めている。

令和3年度は、国民向けコンテンツの「ナオミ通信」「ペスカのおすすめ」「8020ライフ」内の情報の充実を図り、歯科口腔関連情報をまとめた「データバンク」等を中心に整備した。

## (11) 8020アンケート・プレゼントキャンペーン（第12弾）

令和3年11月8日から令和4年2月28日まで、本財団のホームページにおいて、一般国民を対象とした「8020運動」等に関するアンケートを実施し、9,000件を超える回答を得た。アンケート参加者には、抽選で100名に本財団発行の啓発小冊子と株式会社ロッテの協力による賞品をプレゼントした。

なお、アンケートから、「8020運動」の認知度が74.8%にのぼることが分かった。また、本財団ホームページの閲覧目的は「口腔健康管理」が51.9%、「歯やお口についてのマメ知識」が48.6%、「生活情報を知るため」が29.7%との調査が得られた。

## (12) 歯科口腔保健法の制定及び歯科保健条例の制定マップ

平成23年8月10日に歯科口腔保健法が公布され、都道府県における「歯科保健条例」の制定状況を本財団ホームページ内のマップにまとめ、国民に周知している。

令和4年3月末現在、45道府県および172市区町村で条例が制定されている。

## (13) 調査研究事業

8020運動や歯科・口腔の健康と全身の健康の関連等について、調査・研究を実施している。

### ① 第2回永久歯の抜歯原因調査の特別集計解析

「第2回永久歯の抜歯原因調査（平成30年11月）」のデータを特別集計し、多要因分析を含め新たな解析を行って論文をとりまとめた。「Reasons for Tooth Extractions in Japan: The Second Nationwide Survey」としてとりまとめた論文がInternational Dental Journal (FDI 雑誌) にアクセプトされ、同誌10月号に掲載となった。

また、続いてとりまとめた論文「Self-reported diabetes mellitus and tooth extraction due to periodontal disease and dental caries in the Japanese population」についてもInternational Journal of Environmental Research and - MDPIにアクセプトされた。

### ② 事業所を対象とした歯科健診及び保健指導の介入研究

令和2年度に引き続き、歯科健診未導入の中小企業等を対象に唾液検査試験紙による歯周病リスク判定と術者みがきによる指導を中心とした歯科健診を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、仙台での集団健診・東京での集団健診並びに調査票の収集がいずれも中止となった。

### ③ 職域等における歯科口腔保健のエビデンス収集

職域等における口腔保健サービスの円滑な推進を図るうえでの基礎資料となる最近の知見を中心に文献収集を行い、事業所等が口腔保健サービスを含めデータヘルス計画等の企画立案に活用するための事例集（冊子・Web版）を作成した。

本事例集は関係方面に配布し、ホームページでも掲載している。

### ④ 保険者における歯科の取り組みに関する調査

医療保険者における職域での歯科口腔保健の取り組みについて実状を調査し基礎資料を得るとともに、データヘルスでの歯科口腔保健の位置づけ等について解析を行うことを予定し

ているが、健保連等調査データの収集が遅れており、本年度は進んでいない。

#### (14) 助成事業

##### ① 令和3年度8020公募研究事業

令和3年9月1日(水)に8020調査研究委員会を開催し、7月31日の締切りまでに応募のあった37題の公募研究申請について審査を行い、理事会を経て下記の16題の採択を決定した。

研究課題と申請者等は下表のとおり。

##### <公募研究課題>

1. 歯科口腔保健に関する疫学研究
2. 8020と全身の健康(生活習慣病、フレイル、認知症、ADL、QOL等)に関する研究
3. 介護・医療(終末期医療を含む)等に関する研究
4. 小児・高齢者の口腔機能(摂食・嚥下機能を含む)及び口腔健康管理等に関する研究
5. オーラルヘルスプロモーション及び歯の喪失防止に関する研究
6. 自由研究課題

申請者	所属	職名	研究課題
菅野 勇樹	東京女子医科大学 歯科口腔外科学講座 口腔顎顔面外科学分野	准講師	歯科口腔外科医療従事者における SARS-CoV-2 抗体保有率の多施設疫学調査
武藤 麻未	北海道大学 歯学院 歯科矯正学教室	医員	妊婦の血中ビタミンDが胎児期の歯の形成に与える影響の解明
岩崎 正則	東京都健康長寿医療センター 研究所 自立促進と精神保健研究チーム	専門副部長	透析患者におけるオーラルフレイル：有病率の把握と栄養状態との関連の解明
真柄 仁	新潟大学 医歯学総合病院	講師	口腔機能低下症患者における口腔機能管理の実施効果
長谷川陽子	新潟大学大学院 医歯学総合研究科 包括歯科補綴学分野	講師	口腔機能の改善は高齢者における動脈硬化リスク改善に寄与するのか？
窪木 拓男	岡山大学大学院 インプラント再生補綴学分野	教授	インプラント治療は高齢者の口腔機能を改善し認知機能を維持させるか？
鈴木 啓之	東京医科歯科大学 大学院医歯学総合研究科 高齢者歯科学分野	特任助教	多職種連携医療における動画を用いた口腔内評価の有効性の検証
玉田 泰嗣	長崎大学病院 摂食嚥下リハビリテーション センター	助教	人工知能による食事摂取量および栄養摂取量計測システムの開発
萩原 芳幸	日本大学歯学部 歯科補綴学第Ⅲ講座	准教授	訪問歯科診療に対する新型コロナ感染症拡大の影響と問題点
二階堂 徹	朝日大学歯学部	教授	フッ化ジアンミン銀の黒変を指標とした根面う蝕治療の臨床的評価
半場 秀典	東京歯科大学保存修復学講座	講師	唾液 ATP 測定検査を用いた高齢者における根面う蝕リスク評価の構築
後藤 理絵	公益財団法人 ライオン歯科衛生研究所	健診事業 推進室室長	ナッジ理論を活用した情報冊子の効果検証

近藤 誠二	福岡大学医学部 歯科口腔外科学講座 福岡大学病院歯科口腔外科	教授・部長	COVID-19 関連 ECMO 患者の定量的口腔内状況把握と口腔衛生管理が転機に及ぼす影響
植原 治	北海道医療大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 保健衛生学分野	講師	唾液の新型コロナウイルスワクチン免疫持続性およびワクチンによって変化するマイクロバイオームの探索
馬場菜安奈	山梨大学医学部 歯科口腔外科	医員	顎関節症に影響するメンタルヘルス要因の検討
川邊 睦記	兵庫医科大学 歯科口腔外科学講座	助教	口腔真菌叢の変化が口腔粘膜炎に及ぼす影響の解析

## ② 令和3年度歯科保健活動事業への助成交付

8月19日（木）に地域保健活動推進委員会を開催し、6月30日の締切りまでに応募のあった24題の歯科保健活動事業助成交付申請について審査を行い、理事会を経て下記の22題を採択し、各事業に対して助成交付を行った。事業名と申請団体名は以下のとおり。

申請団体	事業	実施組織
一般社団法人 岩手県歯科医師会	歯科医療従事者人材確保育成支援事業	一般社団法人岩手県歯科医師会
一般社団法人 宮城県歯科医師会	みやぎヘルスサテライトステーションを活用した口腔機能評価と口腔衛生指導	一般社団法人宮城県歯科医師会
一般社団法人 長野県歯科医師会	こども8020推進員育成事業	一般社団法人長野県歯科医師会
一般社団法人 新潟県歯科医師会	フッ化物応用普及啓発事業	一般社団法人新潟県歯科医師会
一般社団法人 静岡県歯科医師会	学校健診・入学前健診に係る実態調査	一般社団法人静岡県歯科医師会 静岡県健康福祉部医療健康局健康増進課 静岡県教育委員会 静岡県歯科衛生士会
一般社団法人 愛知県歯科医師会	「お口の健康ライブラリー」作成事業（仮） 生涯健康マニュアル・ホームページ作成	一般社団法人愛知県歯科医師会
一般社団法人 奈良県歯科医師会	Web サービスを活用した通いの場や介護予防教室等におけるオーラルフレイル予防事業の実践	一般社団法人奈良県歯科医師会
公益社団法人 香川県歯科医師会	歯薬連携強化によるかかりつけ歯科医機能の充実を目的とした連携ネットワーク推進のためのパイロット事業（2）	香川県歯科医師会 徳島大学歯学部予防歯学分野 まんのう町国保造田歯科診療所
一般社団法人 会津若松歯科医師会	医科歯科連携の事業	一般社団法人会津若松歯科医師会
一般社団法人 仙台歯科医師会	新しい生活様式における歯科保健啓発活動の模索	一般社団法人仙台歯科医師会 東北大学 仙台市 歯と口の健康づくりネットワーク会議
公益社団法人 東京都向島歯科医師会	・生涯を通じた歯科健診・保健事業 ・咀嚼の効用に関連したテーマに関する事業	公益社団法人東京都向島歯科医師会 高齢者支援総合センター
公益社団法人 東京都北歯科医師会	イクメン健診事業	東京都北歯科医師会



公益社団法人 東京都町田市歯科医師会	高齢者歯科口腔機能健診	公益社団法人東京都町田市歯科医師会
一般社団法人 東京都立川市歯科医師会	障害者施設歯科健診及び障害者歯科診療所 開設事業	一般社団法人東京都立川市歯科医師会
一般社団法人 横浜市歯科医師会	学校におけるバスケットボールでの歯の 外傷の実態調査	一般社団法人横浜市歯科医師会
公益社団法人 長野市歯科医師会	障害者施設での歯科健診、および口腔ケアの 実施	公益社団法人長野市歯科医師会
公益社団法人 高松市歯科医師会	病院入院患者を対象とする口腔ケア活動事業	公益社団法人高松市歯科医師会 地域保健Ⅲ部会 訪問歯科診療研究会
一般社団法人 福岡市歯科医師会	地域密着 8020 推進事業（口腔機能低下症）	一般社団法人福岡市歯科医師会
アダプテットスポーツ サポートセンター	2021 年度 I（アイ）ポッチャ 2021 In 大阪 大会 ～噛むことで高めよう、生きる力と競 技力！～	主催）特定非営利活動法人アダプテット スポーツ・サポートセンター 後援）大阪府、大阪府障がい者スポーツ センター協会 他 協力）大阪歯科大学附属病院障がい者歯科、 大手前短期大学歯科衛生学科 他
名古屋市学校歯科医会	DVD [歯肉があふない]（仮）作製	名古屋市学校歯科医会
石巻圏摂食嚥下研究会	石巻圏摂食嚥下研究会 食べる輪	石巻圏摂食嚥下研究会
滋賀医科大学 医学部附属病院 歯科口腔外科	地域包括ケアのための認知症患者における オーラルフレイルの実態調査および地域連 携の推進—急性期病院から在宅看護・介護者 につなぐ多職種間医療連携情報の共有—	滋賀医科大学医学部附属病院 歯科口腔外科 滋賀医科大学医学部附属病院 脳神経内科

### ③ 調査・研究の報告書作成

令和2年度8020公募研究及び令和2年度歯科保健活動助成事業の成果をまとめた報告書をそれぞれ作成し、令和3年11月に賛助会員並びに関係方面に配付した。また、両報告書抄録をホームページに掲載し、周知した。

### (15) 会員レターの発行

本財団の活動報告をまとめた会員レターを年2回発行し、賛助会員や各方面に配布・報告している。本年度は8月に第30号、3月に第31号を発行した。

### (16) 賛助会員証の発行

本年度の入会者に賛助会員証を発行・送付した。

## 10. その他

- ・内閣府公益認定等委員会運営組織及び事業活動状況に関する立入検査

令和3年12月23日（木）に公益法人認定法第27条第1項および第59条第1項の規定に基づく定期立入検査（3回目）を受けた。